

⚠️ 警告 安全のために

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

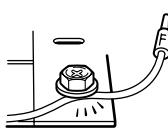
本機はDC 12Vマイナスアース車専用です

本機に付属の電源コードを、大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

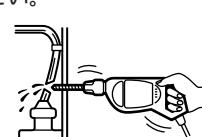
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

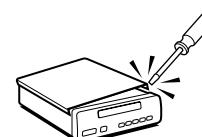
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



分解や改造をしない

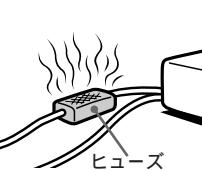
火災や感電、事故の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えててしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



下記の注意を守らないとけがをしたり**自動車に損害**を与えることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

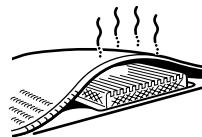
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、不安定な場所などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

本機の通風口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



SONY®

3-856-576-01 (1)

アクティブサブウーファー

取扱説明書

お買上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

XS-AW3

Sony Corporation ©1996 Printed in Japan

主な特長

- 車体に特殊な加工をせず、簡易な設置が可能
- メタルコーン採用20cmサブウーファー
- 最大出力140Wの余裕あるパワー
- 高剛性のアルミダイキャストボックスを採用

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではカーオーディオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によつては修理可能の場合がありますので、お買上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

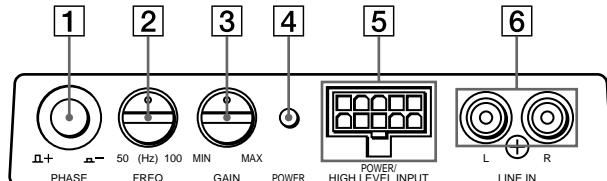
お買上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

各部の名称と使いかた



① PHASE(位相)切り換えスイッチ

お手持ちのシステムに合わせて低音が増すほうに切り換えてください。

② FREQ(中心周波)調整つまみ

再生中心周波数を調節します。左(50)へ回すとより重低音を強め、右(100)へ回すと歯切れのよい重低音になります。

③ GAIN(音量)調整つまみ

本機の音量のみを調節します。他のスピーカーの音量には影響を与えません。

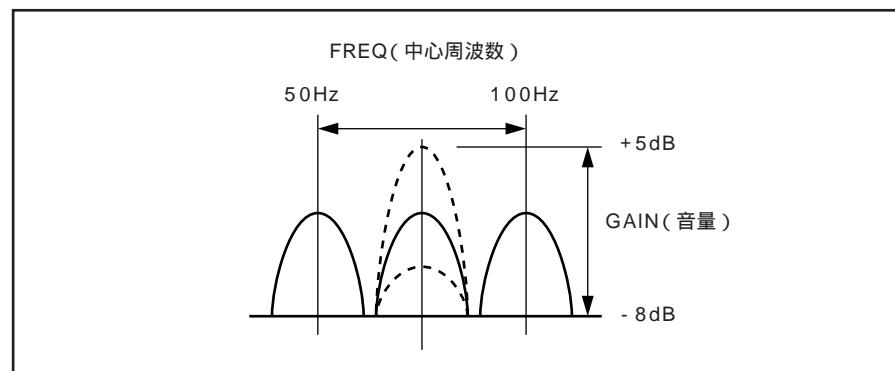
④ POWER(電源)インジケーター

電源が入ると点灯します。

⑤ POWER/HIGH LEVEL INPUT(電源/スピーカー入力)コネクター

⑥ LINE IN端子

RCAピンコード用の端子です。



使用上のご注意

- 窓を閉めきった自動車を直射日光下に放置すると、車内は相当な高温になります。このようなときは、車内の温度を下げるからご使用ください。
- ▲ ボックスの温度が異常に高くなった場合
- ▲ 出力端子がショートして音が異常になった場合
- ▲ 電源ヒューズがとんだ場合
- このような場合には、すぐに接続してある機器の電源を切り、異常の原因をお調べください。温度上昇が原因と考えられる場合は、しばらく放置して本機の温度を下げるからお使いください。
- 弱ったバッテリーで使用しないでください。本機の性能は電源の状況に左右されるため、十分に性能を発揮できません。
- 安全のため、運転中は車外の音が十分聞こえる程度の音量でご使用ください。
- このセットは音声信号を受信すると自動的に動作し、無信号状態が30秒間続くと自動的に電源が切れます。
- LINE IN(RCAピン)を使用する場合
- ▲ 動作用電源コード(黄色)を出来るだけバッテリーに近い所へ接続してください。
- ▲ ノイズが入る場合はHIGH LEVEL INPUT接続(スピーカー入力)をお使いください。

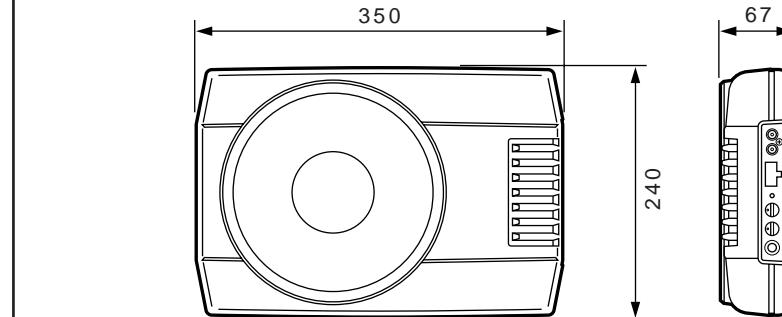
主な仕様

スピーカー部	20 cm ウーファー、アルミニウムコーンタイプ
形式	エッジ部 ブチルラバーロールエッジ
	コイル 耐熱ダブルボイスコイル
	マグネット ストロンチウムフェライト、400 g
最大入力	140 W
定格入力	80 W
インピーダンス	2 Ω + 2 Ω
出力音圧レベル	90dB/10W/m
再生周波数帯域	30 ~ 160 Hz

アンプ部	140 W(70W + 70W BTL方式)
最大出力	80 W(40W + 40W BTL方式)
定格出力	
電源	DC 12 V カーバッテリー(マイナスアース)
消費電流	7 A(最大出力時)
重量	約 4 kg (付属品含まず)
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
別売りアクセサリー	RCAピンコード RC-64(2m)、RC-65(5m) RCA分歧コード RK-C102(1.5m) RCA延長コード RK-C111(1.5m) アンプ用電源コード RC-46(7m)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

寸法図



単位: mm

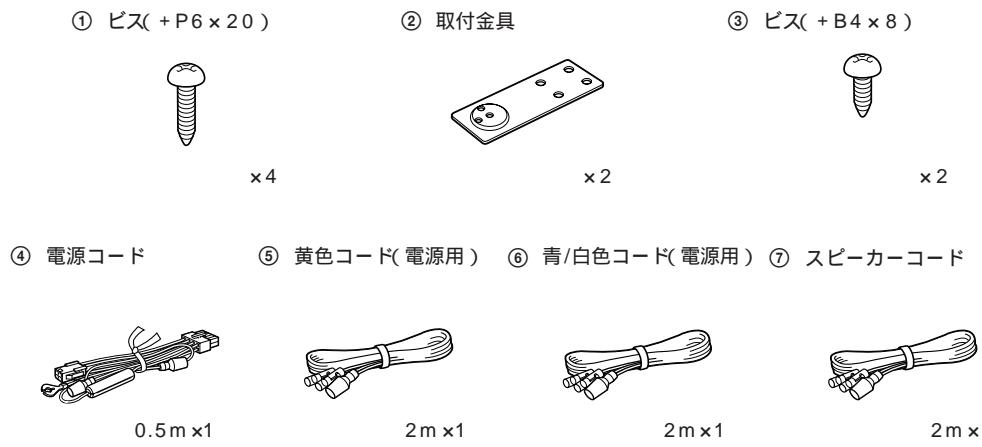
故障かな? と思ったら

症状	原因(処置)
POWER インジケーターが点灯しない。	ヒューズが切れている。→ヒューズを交換する。 アースコードが接続されていない。→車体の金属部にしっかりと接続する。
使用中異常に熱くなる。	本機のリモート端子への入力電圧が発生していない(または低い)。 ・接続しているカーオーディオの電源が入っていない。 →電源を入れる。
オルタネーターの雑音が入る。	バッテリーの電圧が適切であるか(10.5 ~ 16V)確認する。 スピーカー出力がショートしている。→ショートの原因を取り除く。 電源コード、ピンコードがオルタネーターに近い。→オルタネーターから離す。 ピンコードが車両ハーネスに近い。→離して配線する。
	アースが不十分である。→車体の金属部にしっかりと接続する。
	スピーカーの端子が車体に接触している。→車体から離す。

以上の処置を行っても効果が見られないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

取り付け

取付 / 接続部品(附属品)

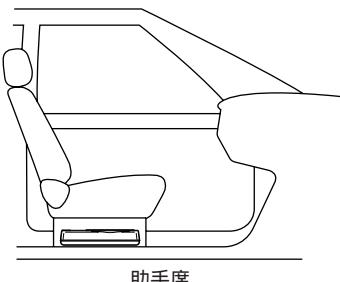


取り付ける前に

- 車の運転の妨げにならない場所、非常時などの際に同乗者に危険を与えるおそれのない場所を選び、付属の取り付け金具を使ってしっかりと取り付けて下さい。
- ヒーター吹き出し口の近く、直射日光の当たる場所などは、故障の原因になりますので取り付けないで下さい。
- フロントシートの下に取り付ける際は、コード類がシートをスライドさせるときに、はさまれないように注意してください。
- 車室内に取り付けてお使いください。トランクルーム内への設置では十分な音響効果が得られません。
- 取り付け場所にネジ穴をあけるときは、裏側に何もないことを確かめてから作業してください。

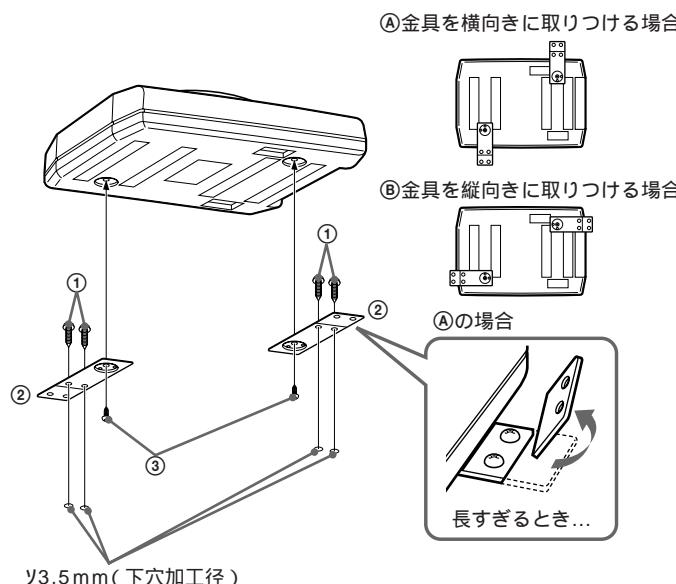
取り付け場所

例



取り付けかた

取り付け金具を利用する場合



接続

接続する前に

- 作業中のショート事故防止のため、接続をするときはバッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 入出力コードと電源コードを近づけて配線するとノイズが出ることがありますので、できるだけ離して配線してください。
- 接続が終わったら、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどのすべての電装品が正しく動作することを確認してください。
- シガレットライターより電源をとることは、おやめ下さい。事故の原因となります。

ご注意

ライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとこれらのコンピューターメモリーの内容がすべて消えてしまうことがあります。このような車では、バッテリーのマイナス端子をはずさずに電源コード以外の接続をしてから、最後に電源コードの接続をするようにしてください。

ヒューズ

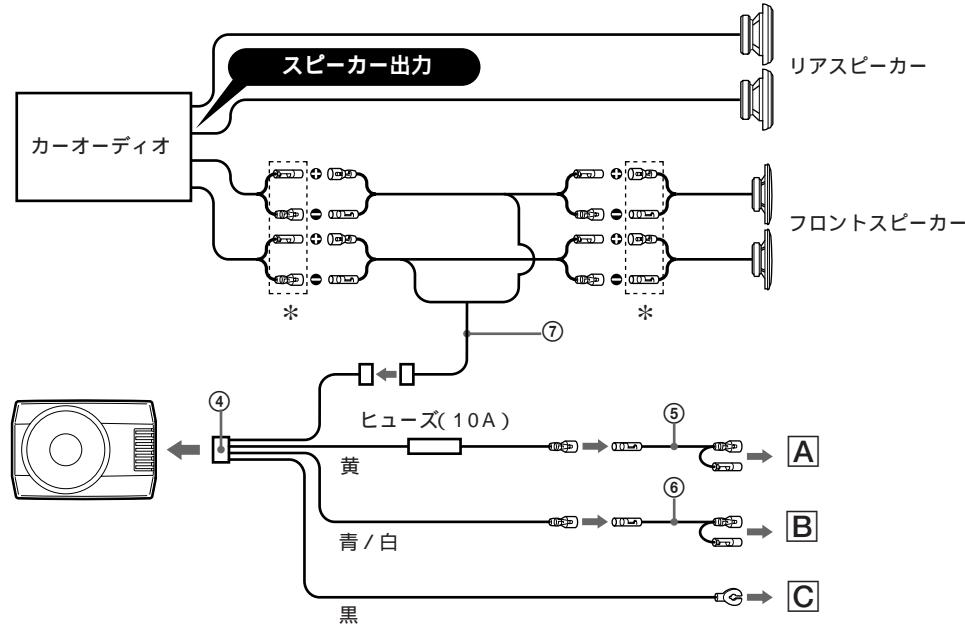
電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、同じ規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけではなく大変危険です。

電源コードの色分け

[A]	黄色コード	動作用電源入力コードです。車のキーに関係なく、常時通電しているところにつなぎます。
[B]	青/白色コード	リモートコントロール用コードです。カーオーディオのリモート出力につなぎます。
[C]	黒色コード	アース用コードです。車体の金属部分に確実にアースしてください。

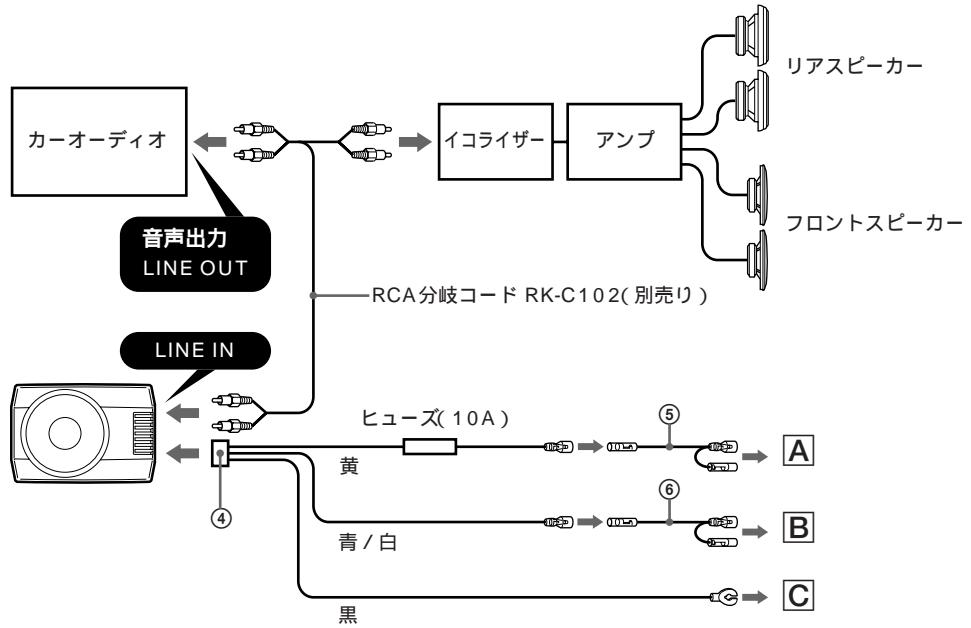
システム接続例

接続例1
スピーカー出力のみのカーオーディオの場合



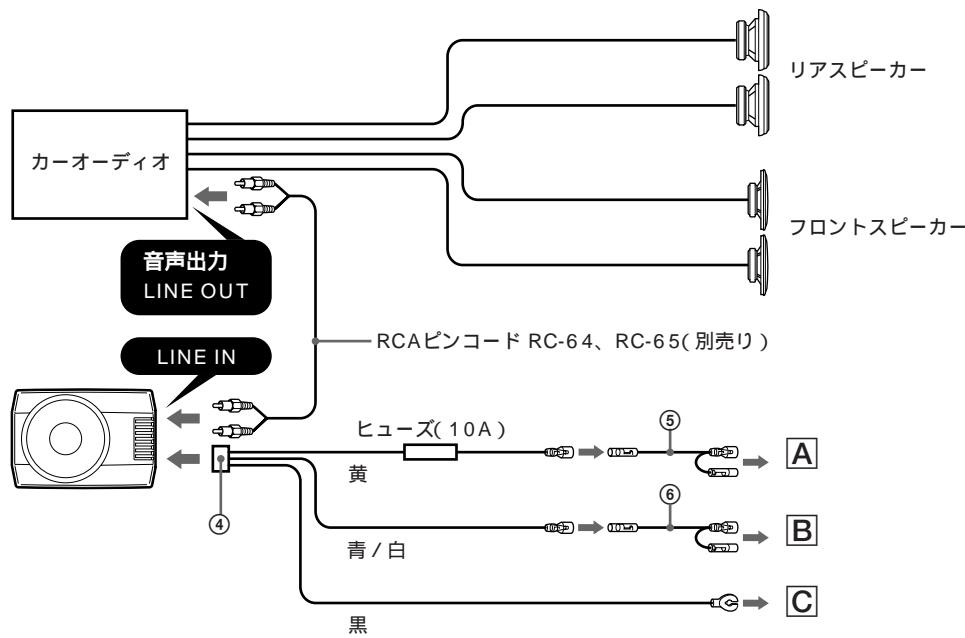
* スピーカーコードがギボシ端子に加工されていない場合は、市販のギボシ端子で加工し、接続してください。

接続例3
アンプを内蔵していないカーオーディオの場合



* RCA分岐コードを延長する場合は、別売りのRK-C111をお使いください。

接続例2
プリアウト出力端子のあるカーオーディオの場合



ご注意

- コード類を配線するときは、クランパーや粘着テープなどで固定してください。金属のバリ部分などと接触する場合は必ず粘着テープなどでコードを保護してください。
- コード類は、ヒーターの吹き出し口の近くなどの高温になる場所を避けて配線してください。
- 電源コードは、指定されたとおり正しく配線してください。配線を誤ったり、確実に接続をしないと、雑音の原因になるだけでなく正しく動作しません。